

2019年5月11日（土）五条川岸辺づくり

【学習会の内容】

五条川底の石を寄せ集め、岸辺を造成し、水生生物を植栽し、水生生物が住みやすい環境にします。また、岸辺の造成前には川の清掃活動を行い、岸辺をつくりやすくします。

※こちらの作業は一宮建設事務所の許可を得ています。



【学習会の様子】



NPO法人トンボと水辺環境研究所の川口先生と宮田先生から、岸辺の大切さと川にはいることの注意を真剣に聞いています。

川口先生

「水がたくさん流れてきたときにつかまるところがないと、自分たちだったらどうなる？おぼれてしまうだろう？水の中のいきものも同じだ。岸辺は水から逃げる場所になり、いきものの家になるんだ。その家をみんなでつくって、いきものを守ろう。」



五条川の川底から石を拾ってネット蛇腹に入れていきます。

ネット蛇腹の長さは約1メートル。

みんな頑張って石を入れてネットをいっぱいにします。石が入ったネットは重く、水の中は歩きにくくて大変ですが、一生懸命に運びます。

ネット蛇腹で石垣を作り、その中を石でいっぱいにして岸辺（=家）の完成です。



作業が終わったあとは、全員アミとバケツを持って、いきものの調査をします。

川の真ん中にはいきものはいないけど、去年作った岸辺（=家）にはいきものがたくさん。

ヌマエビやヤゴなどを捕まえ、みんなで捕まえたいきものを見せ合う姿が印象的でした。